

共同利用・共同研究課題の研究成果を発表するに際しての謝辞のお願い

○2016 年度に始まった共同利用・共同研究拠点の第 2 期では、文部科学省の方針転換により、学術論文については、拠点に所属する者（当拠点であれば、①AA 研所員、②所員を指導教員とする大学院生および③ポスドク等の研究員）を執筆者に含めない場合、共同利用・共同研究による成果である旨の Acknowledgement（謝辞）を付して発表された論文しか、拠点における共同利用・共同研究課題の研究成果として認められないことになりました。2018 年度に実施された共同利用・共同研究拠点の中間評価はこの方針に則って行われ、2021 年度に実施された期末評価でも、この方針を踏襲した評価結果を基に拠点への予算配分に反映されました。

つきましては、研究会で報告した内容をはじめ、共同利用・共同研究課題の研究成果を発表する場合には、プロジェクト名もしくはプロジェクト ID とともにその旨を必ず注記していただくようお願いいたします。ID は研究所ウェブサイトで確認いただけます。

○謝辞（Acknowledgement）の記載例は次のとおりです。

1. 本研究はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題「[プロジェクト名]」の成果の一部です。

This work/paper/book is a product of the ILCAA joint research project “[project title]”.

2. 本研究はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題 jrp xxxxxx [プロジェクト ID] の成果です。

This work is a product of the ILCAA joint research project number jrp xxxxxx (project ID).

3. 本研究（の一部）はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題「[プロジェクト名]」の支援を受けています。

This research was (partially) supported by the ILCAA joint research project “[project title]”.

4. 本研究（の一部）はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題 jrp xxxxxx (プロジェクト ID) project title によって行われた研究に基づいています。

This research was (partially) based on the work conducted in the joint research project jrp xxxxxx[project ID] , sponsored by ILCAA.

This work/paper/book is based on the research activities of ILCAA jrp xxxxxx [project ID].

5. この論文（の一部）はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題「(プロジェクト名)」、第 x 回研究会(x 年 x 月 x 日)での発表に基づいています。

(A part of) the draft of this paper was presented at the meeting of the ILCAA joint research project “[project title]” on [month, day, year].

6. 本研究はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題 jrp xxxxxx[プロジェクト ID] および JSPS 科研費 JPxxxxxxxx の成果の一部です。

This work/paper/book is supported (IN PART) by ILCAA joint research project jrp xxxxxx [project ID], and JSPS KAKENHI Grant Number JPxxxxxxxx.